

Press Information

2006-12-05
No.06-13

曙ブレーキ工業(株) 鋳物工場を新設

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元久隆 本店：東京中央区 本社：埼玉県羽生市）では、群馬県館林市に鋳物工場を新設し調達の一部を内製化することにいたしました。

この鋳物工場新設は、完成車メーカーの生産拡大による需要増加を視野に入れた「安定供給と原価低減の追求」および「ディスクブレーキ製造技術の深堀り」を目的にしており、既に社内プロジェクトを立ち上げて準備を開始しております。

立地は、旧曙ブレーキ館林製造株式会社の跡地を活用し、「環境に配慮した綺麗・快適な職場環境、そして活力のある鋳物工場」をコンセプトに、2007年度から2009年度までの3年間で、約50億円の投資を計画しております。2008年4月に約40名の体制で操業を開始、2009年9月までに約90名まで増員を行い、国内事業の必要重量の約50%をカバーする2,200トン/月の生産能力にまで引き上げる計画です。

鋳物はディスクブレーキの主要な材料のひとつであり、加工された鋳物はディスクブレーキの本体を構成する主要部品（ボディ・サポート）になりますが、当面、調達難易度の高いサポートから生産開始いたします。



当社グループでは、その摩擦材であるディスクブレーキパッドのOEM世界シェア30%獲得を掲げた中期経営計画「Global 30」に取り組んでおり、今回の鋳物工場新設による調達の一部内製化は、その達成およびそれ以降の展開を視野に入れたものとなります。